

## 三田尻港で海外調達部品の荷揚げが始まりました



▲積み荷を200tの大型クレーンを使い、大型トレーラーへ降ろす様子。  
船のすぐそばに立つ人と船を比べると、船の大きさ(10,000t)がよくわかります。

11月末から、発電所に設置される大型の設備・機械の搬入が始まりました。

海外(主にフィンランド、中国等)で作製、調達した荷物を三田尻港、中関港に荷揚げしています。



▲大型トレーラーで三田尻港の荷降ろし一次保管場所まで運び、工事進行に合わせて建設現場に運び込みます。



## 視察ご一行様

12月21日に山口県防府土木建築事務所様、県議会議員島田教明先生が三田尻港での荷揚げの状況、工事現場で発電所の建設状況の視察に来場されました。(右から 山口県防府土木建築事務所 小澤所長、島田県議会議員、山口県防府土木建築事務所 港湾課 寿恵村課長)

## タービン建屋立柱式を行いました

12月8日に施工会社の方々と一緒に、タービン建屋の立柱式を執り行いました。12.5mある柱を立柱した後、お神酒をまき、建物の永遠堅固と工事の安全をお祈りしました。2018年1月22日には、ボイラー建屋の立柱式も執り行う予定です。



▲立柱の様子



▲立柱式の様子



# 2017年12月末時点 工事進捗状況



完成予想図

マテハンエリア

排水処理  
エリア

タービンエリア

ボイラエリア

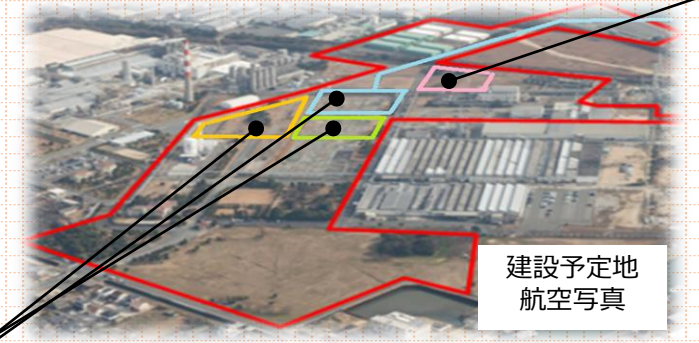
## マテハン・タービン・ボイラエリア

基礎が完成し、地上構造物の建設が進んできました。  
右手前の建物は石炭バンカー基礎工事用の足場です。



## 排水処理エリア

発電所では、ボイラー用の純水や冷却水等、様々な種類の水を大量に使用するため、貯蔵タンク、水処理装置の建設を進めています。



建設予定地  
航空写真

## 建設予定地 定点観測撮影

2017年12月15日時点



2017年10月24日時点



タービン建屋の鉄骨  
が立ち並びました

冷却塔の基礎部分

## 環境保全活動のご紹介 ~環境監視調査について~

AWEP山口では、「環境影響評価書」に基づいて、様々な環境保全の取り組みを行なっています。環境調査時に確認されためずらしい蝶(シルビアシジミ)の生息環境の調査を実施しました。引き続き環境の保全に万全を期して建設工事を進めて参ります。



(左) 発電所及びその周辺で生存が確認されたシルビアシジミ  
(右)シルビアシジミの生息状況調査の様子

